

## ツシマヤマネコの食物栄養学的研究

薄井 正

ツシマヤマネコは天然記念物および国内希少野生動植物種に指定されている。その生息数は 70 頭もしくは 100 頭と推定されている。そのため、環境省によりツシマヤマネコ保護増殖事業計画が策定され、福岡市動物園で飼育が開始された。しかし、その歴史は浅く、1996 年に飼育が開始され、まだ 20 年ほどしか経過していない。

保護増殖事業により繁殖に関わる研究が実施され、2000 年に初めて繁殖に成功して以来、順調に飼育下個体を増やしてきたが、2010 年から 4 年間、繁殖することが無かった。

繁殖推進には健康管理が必要であり、人工繁殖や疾病対策、栄養評価、ハズバンドリートレーニングの取り組みが開始された。栄養評価は富山市ファミリーパーク、沖縄こどもの国、および当園で飼育している個体を供試することになった。性ホルモンは代謝に影響するため、オス個体を対象とした消化試験を実施し、要求量の分析を行った。これまではイエネコの飼養標準を用いて給与内容を決めていたが、分析によって得られたデータを用いることで、より詳細に内容を検討できるようになった。

今年度で 5 年目となり、その過程で得られた知見を基に飼料を変更してきた結果を報告する。